

開設主体別では、-10%以上は「医療法人」に多く（18.12%）、次いで「公的」（15.81%）、「個人」（15.38%）の順であった。

表6-3 平成18年度医業収支（開設主体別）

（単位：回答数，%）

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
+10%以上	8	6.30	13	3.26	25	8.59	168	10.80	10	15.38	15	5.07
+5%以上～+10%未満	7	5.51	18	4.51	15	5.15	122	7.84	2	3.08	21	7.09
+1%以上～+5%未満	35	27.56	70	17.54	50	17.18	294	18.89	16	24.62	57	19.26
+1%以上～-1%未満	29	22.83	57	14.29	48	16.49	193	12.40	9	13.85	56	18.92
-1%以上～-5%未満	36	28.35	131	32.83	79	27.15	359	23.07	12	18.46	76	25.68
-5%以上～-10%未満	8	6.30	66	16.54	28	9.62	138	8.87	6	9.23	27	9.12
-10%以上	4	3.15	44	11.03	46	15.81	282	18.12	10	15.38	44	14.86
合計	127	100.00	399	100.00	291	100.00	1,556	100.00	65	100.00	296	100.00

病床種別では、「医療療養のみ」において、-10%以上が25.42%であり、-1%以上が72.5%と際立っていた。

表6-4 平成18年度医業収支（病床種別別）

（単位：回答数，%）

	一般のみ		一般+医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
+10%以上	67	8.39	43	7.76	10	4.17	83	13.70	38	6.81
+5%以上～+10%未満	58	7.26	42	7.58	13	5.42	48	7.92	26	4.66
+1%以上～+5%未満	170	21.28	78	14.08	21	8.75	142	23.43	112	20.07
+1%以上～-1%未満	114	14.27	70	12.64	22	9.17	81	13.37	109	19.53
-1%以上～-5%未満	207	25.91	126	22.74	72	30.00	122	20.13	171	30.65
-5%以上～-10%未満	79	9.89	74	13.36	41	17.08	37	6.11	45	8.06
-10%以上	104	13.02	121	21.84	61	25.42	93	15.35	57	10.22
合計	799	100.00	554	100.00	240	100.00	606	100.00	558	100.00

7. 平成 15 年度末と比較した平成 18 年度末の医師数（常勤換算）

平成 15 年度末と比較した医師数（常勤換算）は、31.88%の病院で減少していた。

表 7-1 平成 15 年度末と比較した平成 18 年度末の医師数（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数	構成比
10%以上増	530	18.88
1%～9%増	615	21.91
増減なし	767	27.32
1%～9%減	498	17.74
10%以上減	397	14.14
合計	2,807	100.00

病床規模別では、500 床以上において 69.1%の病院で医師数が増加しており、減少した病院を大きく上回っていた。

表 7-2 平成 15 年度末と比較した平成 18 年度末の医師数（許可病床規模別）（単位：回答数，%）

	0～99		100～199		200～499		500 以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	78	12.79	137	16.75	215	19.94	100	33.22
1%～9%増	107	17.54	150	18.34	250	23.19	108	35.88
増減なし	256	41.97	251	30.68	225	20.87	35	11.63
1%～9%減	94	15.41	143	17.48	219	20.32	42	13.95
10%以上減	75	12.30	137	16.75	169	15.68	16	5.32
合計	610	100.00	818	100.00	1,078	100.00	301	100.00

開設主体別では、減少病院はいずれでも高率に認めるが、特に「国立」「自治体立」では減少病院数が増加病院数を上回っていた。

表7-3 平成15年度末と比較した平成18年度末の医師数（開設主体別）

（単位：回答数，%）

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	19	15.08	71	17.57	78	26.80	281	17.76	6	8.70	70	22.44
1%～9%増	34	26.98	90	22.28	62	21.31	334	21.11	14	20.29	78	25.00
増減なし	19	15.08	71	17.57	31	10.65	553	34.96	38	55.07	51	16.35
1%～9%減	26	20.63	88	21.78	61	20.96	246	15.55	3	4.35	67	21.47
10%以上減	28	22.22	84	20.79	59	20.27	168	10.62	8	11.59	46	14.74
合計	126	100.00	404	100.00	291	100.00	1,582	100.00	69	100.00	312	100.00

病床種別においても、すべての病床種別で高率に減少病院が存在する。

表7-4 平成15年度末と比較した平成18年度末の医師数（病床種別別）

（単位：回答数，%）

	一般のみ		一般+医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	174	21.48	84	15.19	23	9.35	115	18.55	134	23.18
1%～9%増	201	24.81	123	22.24	33	13.41	113	18.23	145	25.09
増減なし	170	20.99	141	25.50	129	52.44	231	37.26	96	16.61
1%～9%減	143	17.65	113	20.43	36	14.63	99	15.97	107	18.51
10%以上減	122	15.06	92	16.64	25	10.16	62	10.00	96	16.61
合計	810	100.00	553	100.00	246	100.00	620	100.00	578	100.00

8. 平成17年度末と比較した平成18年度末の看護師数（常勤換算）

平成17年度末と比較した看護師数（常勤換算）は、33.12%の病院で減少していた。

表8-1 平成17年度末と比較した平成18年度末の看護師数（常勤換算した数）（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数	構成比
10%以上増	295	10.49
1%～9%増	998	35.50
増減なし	587	20.88
1%～9%減	761	27.07
10%以上減	170	6.05
合計	2,811	100.00

病床規模別では、どの階層においても減少病院が高率に存在するが、500床以上では62.95%の病院で看護師が増加していた。

表8-2 平成17年度末と比較した平成18年度末の看護師数（常勤換算した数）（許可病床規模別）（単位：回答数，%）

	0～99		100～199		200～499		500以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	65	10.71	96	11.72	108	10.00	26	8.52
1%～9%増	175	28.83	262	31.99	395	36.57	166	54.43
増減なし	169	27.84	162	19.78	219	20.28	37	12.13
1%～9%減	153	25.21	224	27.35	310	28.70	74	24.26
10%以上減	45	7.41	75	9.16	48	4.44	2	0.66
合計	607	100.00	819	100.00	1,080	100.00	305	100.00

開設主体別では、「国立」においては58.92%の病院で看護師が増加しており、次いで「公的」の増加が多かった。

表8-3 平成17年度末と比較した平成18年度末の看護師数(常勤換算した数)(開設主体別)

(単位:回答数, %)

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	9	6.98	16	3.96	18	6.21	204	12.88	10	14.71	34	10.86
1%~9%増	67	51.94	138	34.16	134	46.21	506	31.94	15	22.06	130	41.53
増減なし	26	20.16	74	18.32	48	16.55	366	23.11	22	32.35	47	15.02
1%~9%減	24	18.60	153	37.87	70	24.14	407	25.69	16	23.53	86	27.48
10%以上減	3	2.33	23	5.69	20	6.90	101	6.38	5	7.35	16	5.11
合計	129	100.00	404	100.00	290	100.00	1,584	100.00	68	100.00	313	100.00

病床種別では、すべての病床種別で高率に減少病院が存在する。

表8-4 平成17年度末と比較した平成18年度末の看護師数(常勤換算した数)(病床種別別)

(単位:回答数, %)

	一般のみ		一般+医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10%以上増	92	11.33	51	9.21	17	6.88	84	13.61	51	8.78
1%~9%増	317	39.04	189	34.12	52	21.05	190	30.79	250	43.03
増減なし	146	17.98	103	18.59	75	30.36	159	25.77	104	17.90
1%~9%減	210	25.86	158	28.52	83	33.60	158	25.61	152	26.16
10%以上減	47	5.79	53	9.57	20	8.10	26	4.21	24	4.13
合計	812	100.00	554	100.00	247	100.00	617	100.00	581	100.00

9. 平成 18 年度中の医師募集状況

全病院のうち、平成 18 年度中に医師募集を行った病院は、72.51%あった。しかし、「採用予定数より少なかった」(50.28%)、「全く採用できなかった」(25.60%)と、予定通り採用できない病院は 75.88%にのぼり、医師採用の困難さが明らかとなった。

病床規模別では、どの階層でも医師採用の困難な状況が見受けられ、開設主体別・病床種別でもすべてにおいて医師採用が困難な状況を認めた。

表 9-1 平成 18 年度中の医師募集 (全体)

(単位:回答数, %)

	回答数	構成比
あり	1,991	72.51
なし	755	27.49
合計	2,746	100.00

表 9-2 「あり」の場合 (全体)

(単位:回答数, %)

	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	42	2.13
採用予定数とおり採用できた	433	21.99
採用予定数より少なかった	990	50.28
まったく採用できなかった	504	25.60
合計	1,969	100.00

表 9-3 「あり」の場合 (許可病床規模別)

(単位:回答数, %)

	0~99		100~199		200~499		500 以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	5	1.47	10	1.84	20	2.37	7	2.89
採用予定数とおり採用できた	95	27.86	106	19.52	165	19.57	67	27.69
採用予定数より少なかった	90	26.39	257	47.33	491	58.24	152	62.81
まったく採用できなかった	151	44.28	170	31.31	167	19.81	16	6.61
合計	341	100.00	543	100.00	843	100.00	242	100.00

表9-4 「あり」の場合（開設主体別）

(単位:回答数, %)

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	1	0.82	0	0.00	2	0.85	35	3.32	0	0.00	4	1.77
採用予定数とおりに採用できた	25	20.49	36	12.77	29	12.29	284	26.92	11	34.38	47	20.80
採用予定数より少なかった	79	64.75	153	54.26	157	66.53	448	42.46	13	40.63	130	57.52
まったく採用できなかった	17	13.93	93	32.98	48	20.34	288	27.30	8	25.00	45	19.91
合計	122	100.00	282	100.00	236	100.00	1,055	100.00	32	100.00	226	100.00

表9-5 「あり」の場合（病床種別別）

(単位:回答数, %)

	一般のみ		一般+医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	12	1.98	6	1.49	2	1.61	14	3.67	8	1.76
採用予定数とおりに採用できた	120	19.80	75	18.61	38	30.65	118	30.97	82	18.02
採用予定数より少なかった	336	55.45	200	49.63	33	26.61	134	35.17	287	63.08
まったく採用できなかった	138	22.77	122	30.27	51	41.13	115	30.18	78	17.14
合計	606	100.00	403	100.00	124	100.00	381	100.00	455	100.00

10. 平成18年度中の看護師募集状況

全病院では、96.08%の病院が平成18年度中に看護師を募集しているが、「採用予定数より少なかった」「全く採用できなかった」は合計66.77%と極めて高率であった。

表10-1 平成18年度中の看護師募集（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数	構成比
あり	2,624	96.08
なし	107	3.92
合計	2,731	100.00

表10-2 「あり」の場合（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	66	2.57
採用予定数とおりに採用できた	789	30.66
採用予定数より少なかった	1,656	64.36
まったく採用できなかった	62	2.41
合計	2,573	100.00

病床規模別では、いずれの階層においても看護師採用の困難を認めた。

表10-3 「あり」の場合（許可病床規模別）

（単位：回答数，%）

	0～99		100～199		200～499		500以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	11	2.06	19	2.54	29	2.89	7	2.46
採用予定数とおりに採用できた	173	32.40	225	30.04	293	29.15	98	34.39
採用予定数より少なかった	320	59.93	483	64.49	673	66.97	180	63.16
まったく採用できなかった	30	5.62	22	2.94	10	1.00	0	0.00
合計	534	100.00	749	100.00	1,005	100.00	285	100.00

開設主体別では、いずれの開設主体でも看護師採用の困難を認めるが、「国立」のみが他の開設主体を上回り、過半数の病院で看護師を採用できていた。

表10-4 「あり」の場合（開設主体別）

（単位：回答数，％）

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	6	4.69	7	2.06	8	3.08	35	2.38	2	3.33	8	2.69
採用予定数とおりに採用できた	59	46.09	114	33.63	77	29.62	427	29.03	17	28.33	89	29.97
採用予定数より少なかった	63	49.22	209	61.65	171	65.77	967	65.74	38	63.33	196	65.99
まったく採用できなかった	0	0.00	9	2.65	4	1.54	42	2.86	3	5.00	4	1.35
合計	128	100.00	339	100.00	260	100.00	1,471	100.00	60	100.00	297	100.00

病床種別では、いずれにおいても看護師採用の困難を認めた。

表10-5 「あり」の場合（病床種別別）

（単位：回答数，％）

	一般のみ		一般+医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
採用予定数以上に採用できた	20	2.73	9	1.74	5	2.29	18	3.19	14	2.59
採用予定数とおりに採用できた	229	31.28	109	21.04	64	29.36	216	38.23	171	31.67
採用予定数より少なかった	475	64.89	376	72.59	135	61.93	321	56.81	349	64.63
まったく採用できなかった	8	1.09	24	4.63	14	6.42	10	1.77	6	1.11
合計	732	100.00	518	100.00	218	100.00	565	100.00	540	100.00

1.1. 平成16年度以降の病床休止もしくは返還の状況

平成16年度以降の病床休止もしくは返還の状況は、全病院の18.67%（521病院）が「あり」と回答している。さらにその病院数は、平成18年度に急増しており、平成19年度もその傾向が続いている。

表1.1-1 平成16年度以降の病床休止もしくは返還

(単位:回答数, %)

	回答数	構成比
あり	521	18.67
なし	2,269	81.33
合計	2,790	100.00

表1.1-2 「あり」の場合(全体)

(単位:回答数, %)

	回答数	病床数	平均値	中央値
平成16年度	39	1,203	30.85	27.0
平成17年度	95	3,494	36.78	40.0
平成18年度	228	8,820	38.68	34.5
平成19年度	115	4,905	42.65	36.0
合計	477	18,422	38.62	35.0

これを病床規模別に見ると、病床規模の大きい病院ほど比率が大きくなっている。

表1.1-3 平成16年度以降の病床休止もしくは返還(許可病床規模別)

(単位:回答数, %)

	0~99		100~199		200~499		500以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あり	62	10.23	99	12.16	269	25.21	91	30.03
なし	544	89.77	715	87.84	798	74.79	212	69.97
合計	606	100.00	814	100.00	1,067	100.00	303	100.00

開設主体別では、「国立」「自治体立」「公的」の順でその比率が高い。

表 1 1 - 4 平成 1 6 年度以降の病床休止もしくは返還（開設主体別）

（単位：回答数，％）

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あり	39	30.23	121	30.10	74	26.15	191	12.11	13	19.70	79	25.24
なし	90	69.77	281	69.90	209	73.85	1,386	87.89	53	80.30	234	74.76
合計	129	100.00	402	100.00	283	100.00	1,577	100.00	66	100.00	313	100.00

病床種別では、「精神のみ」「一般のみ」の順でその比率が高い。また、「医療療養のみ」は診療報酬改定が平成 1 8 年 7 月からであり、平成 1 9 年になってから比率が高くなるのに対し、他の病床種別では、多くの病院が平成 1 8 年度中に休止もしくは返還を行っている。看護基準の変更に対する対応が困難であったことがその主因と考えられる。

表 1 1 - 5 平成 1 6 年度以降の病床休止もしくは返還（病床種別別）

（単位：回答数，％）

	一般のみ		一般＋医療療養		医療療養のみ		精神のみ		それ以外	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あり	138	17.04	81	14.73	16	6.53	108	17.65	178	31.06
なし	672	82.96	469	85.27	229	93.47	504	82.35	395	68.94
合計	810	100.00	550	100.00	245	100.00	612	100.00	573	100.00

表 1 1 - 6 「あり」の場合（病床種別別）

（単位：回答数，％）

	一般のみ				一般＋医療療養				医療療養のみ			
	回答数	病床数	平均値	中央値	回答数	病床数	平均値	中央値	回答数	病床数	平均値	中央値
平成 1 6 年度	12	477	39.75	40.5	8	101	12.63	12.0	0	0	0.00	0.0
平成 1 7 年度	25	923	36.92	40.0	12	442	36.83	35.5	2	32	16.00	16.0
平成 1 8 年度	64	2,480	38.75	35.0	32	1,161	36.28	35.5	6	57	9.50	10.0
平成 1 9 年度	23	999	43.43	41.0	20	814	40.70	39.5	7	167	23.86	24.0
合計	124	4,879	39.35	38.0	72	2,518	34.97	29.0	15	256	17.07	12.0

	精神のみ				それ以外			
	回答数	病床数	平均値	中央値	回答数	病床数	平均値	中央値
平成 1 6 年度	4	97	24.25	24.5	15	528	35.20	28.0
平成 1 7 年度	19	563	29.63	33.0	37	1,534	41.46	41.0
平成 1 8 年度	55	1,804	32.80	25.0	71	3,318	46.73	48.0
平成 1 9 年度	16	414	25.88	15.0	49	2,511	51.24	43.0
合計	94	2,878	30.62	24.5	172	7,891	45.88	43.0

12. 平成16年度以降に休止した診療科

平成16年度以降に何らかの診療科を休止した病院は、全体の15.78%（439病院）に上る。診療科で最も多いのは産婦人科（71病院）であり、次いで小児科（67病院）などであり、複数回答を合わせると622科に上った。

表12-1 平成16年度以降に休止した診療科（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数	構成比
あり	439	15.78
なし	2,343	84.22
合計	2,782	100.00

表12-2 「あり」の場合の休止した診療科（全体）

（単位：回答数，%）

	回答数		回答数
内科	11	眼科	25
呼吸器科	23	耳鼻咽喉科	33
消化器科	10	気管食道科	4
循環器科	16	皮膚科	33
小児科	67	泌尿器科	21
精神科	34	肛門科	9
神経科	8	リハビリテーション科	9
外科	22	放射線科	8
整形外科	31	麻酔科	29
脳神経外科	22	歯科	25
産婦人科	71	その他	111
		合計	622

病床規模別では、200～499床に最も多く見られ、0～99床、500床以上では少なかった。

表12-3 平成16年度以降に休止した診療科（許可病床規模別） （単位：回答数，％）

	0～99		100～199		200～499		500以上	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あり	77	12.81	124	15.20	194	18.25	44	14.57
なし	524	87.19	692	84.80	869	81.75	258	85.43
合計	601	100.00	816	100.00	1,063	100.00	302	100.00

開設主体別では、「自治体立」に多く、「公的」「国立」と続く。科別では「医療法人」の小児科（34病院）、「自治体立」の産婦人科（26病院）・小児科（15病院）、「公的」の産婦人科（17病院）などが際立つ。

表12-4 平成16年度以降に休止した診療科（開設主体別） （単位：回答数，％）

	国立		自治体立		公的		医療法人		個人		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あり	29	22.48	109	27.46	66	22.92	175	11.17	3	4.48	54	17.36
なし	100	77.52	288	72.54	222	77.08	1,392	88.83	64	95.52	257	82.64
合計	129	100.00	397	100.00	288	100.00	1,567	100.00	67	100.00	311	100.00

表12-5 「あり」の場合の休止した診療科（開設主体別）

(単位:回答数)

	国立	自治体立	公的	医療法人	個人	その他
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
内科	1	1	0	8	0	1
呼吸器科	2	6	5	9	0	1
消化器科	1	4	0	4	0	1
循環器科	1	3	1	5	1	4
小児科	6	15	6	34	0	6
精神科	1	9	6	12	1	5
神経科	1	3	0	4	0	0
外科	1	4	5	11	0	1
整形外科	4	6	5	12	0	4
脳神経外科	2	7	5	7	0	1
産婦人科	3	26	17	14	0	11
眼科	1	9	4	9	0	2
耳鼻咽喉科	1	10	3	14	0	5
気管食道科	1	1	1	0	0	1
皮膚科	2	8	8	14	0	1
泌尿器科	1	4	4	10	0	2
肛門科	0	1	1	5	0	2
リハビリテーション科	0	1	0	6	0	2
放射線科	0	1	0	6	0	1
麻酔科	3	6	1	16	0	3
歯科	6	7	1	5	0	5
その他	9	24	18	44	1	14
合計	47	156	91	249	3	73